

出穂が2～3日早まる見込み！ 引き続き作溝・中干しの徹底を！

1 茎数は十分確保され、葉齢は全般に進んでいる！

6月30日現在の生育診断圃の生育は、草丈が長く、茎数は多く、葉齢は進んでいます。また、葉色は全般に平年並～やや濃く推移している状況です。管内水稻の生育は圃場ごとのバラツキがみられますが、ほとんどの圃場で目標茎数は十分確保されています。

水田農業研究所では、6月29日に調査した結果から「はえぬき」「雪若丸」「ひとめぼれ」で出穂が2～3日早まると予想しています。引き続き作溝・中干しを徹底して、適期に穂肥のできる稲姿にしましょう。

表1 生育診断圃の生育状況（6月30日現在）

地帯	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉数 枚	葉色 SPAD	残存アミノ態窒素 (mg/100g 乾土)
平坦 はえぬき 5/10 移植	本年	54.8	784	9.9	42.3	2.2
	前年	50.7	589	9.4	38.8	1.2
	平年	47.1	662	9.3	41.7	1.3
	平年比・差	116%	118%	+0.6	+0.6	+0.9
平坦 つや姫 5/8 移植	本年	55.8	540	10.1	42.2	1.0
	前年	53.2	436	9.4	42.6	1.1
	平年	44.2	500	8.9	43.1	1.1
	平年比・差	126%	108%	+1.2	-0.9	-0.1
平坦 雪若丸 5/11 移植	本年	42.4	753	9.5	45.4	1.8
	前年	45.4	783	10.7	45.6	3.7
	指標	45.0	670	9.6	42.0	3.7
	指標比・差	94%	112%	-0.1	+3.4	-1.9

2 作溝・中干しを徹底し、穂肥のできる稲姿へ！

1か月予報（気象庁6月24日発表）によると、向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並か多い、日照時間は少ないと予報されています。

今後どのような気象が来ても対応できるよう、今の時期に確実に中干しを実施し、生育制御を行うことが重要です。引き続き作溝・中干しを徹底し、適期・適量の穂肥のできる稲姿に仕上げていきましょう。

○中干しの強さは、「小ヒビが入る程度」を目安にします。

茎数過剰や葉色の濃い圃場では強めの中干しとしますが、強すぎると上根が切れてしまうので注意しましょう。生育量が少なめの場合は、弱めの中干しとします。

○幼穂形成期以降は、稲体の水分要求量が高まるため、出穂するまで間断かんがいを継続しましょう。今後の水管理を効果的に行うため、作溝がきれいに切れているか確認し、不十分な場合はすぐに手直しを行いきましょう。



中干しを十分に行わないと・・・

①根の活力の低下、②高温やフェーンなどの気象変動による被害を受けやすい、③強風による倒伏の増加、④地耐力の低下によりコンバインによる刈取り作業に支障をきたす、などの問題が出やすくなります。

中干しの目的を再確認しましょう！

中干しを行うことで無効分げつの抑制、上根の増加、受光態勢の向上、地耐力の強化が図られ、登熟の向上と倒伏の軽減につながります。また、土壤中の窒素が無機化され、葉色が低下することで適期・適量の穂肥が実施できるようになります。

3 穂肥の施用は稲を良く見て慎重に

【穂肥の目安】 ※より詳しい穂肥については、地域の穂肥指導等に参加し相談しましょう！

品種	予想出穂期	葉色		施肥窒素量(N成分 kg/10a)		
		SPAD	葉色板	出穂30日前	出穂25日前	出穂20日前
はえぬき	8/2頃	35以下	4.5以下	1.5~2.0	—	(1.0~1.5)
		36~39.9	4.6~4.9	—	1.5~2.0	—
		40以上	5.0以上		1.0~1.5	
ひとめぼれ	7/31頃	33~37	4.3~4.7	—		1.0~1.5
雪若丸	8/2頃	40~44	5.0~5.4	—	1.5	—
つや姫	8/8頃	39以下	4.9未満	1.5(有機N入り)	—	—

○生育量に応じて適期適量の穂肥を行いましょう。葉色が濃い場合は生育診断に基づき、過剰な穂肥はひかえ、減肥または無施用としまししょう。

3 病害虫防除

発生予察情報では、斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と予想されています。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策を徹底しましょう。斑点米被害を防ぐためには、圃場周辺の斑点米カメムシ類の密度を低く保つことが大切です。

一斉草刈りデーは 7月23日(金)～25(日)です！



**速やかに中干しを行い、
穂肥のできる稲姿に仕上げましょう！**

- 穂肥時期は、つや姫は有機質入り肥料で出穂の30日前、雪若丸は出穂の25日前です。遅れずに穂肥ができるように準備しましょう。
- 葉色の濃いつや姫には、適期適量の穂肥施用ができません。茎数が多い・葉色が濃い圃場では、やや強めの中干しを行いましょう。
- 生育診断の時期は、つや姫が7月10日、雪若丸が6月30日です。生育を確認しましょう。

農作業事故に注意！

作業機械、自身の体調を確認し
農作業安全に努めましょう！

**熱中症に注意して、
無理はせず、
水分・休憩を
しっかりととりましょう！**

